

西川 なつみ  
NISHIKAWA Natsumi



今日までそして明日から  
小松石



今日まで そして明日から

人の生の石

生まれてから死ぬまでを石に刻む

小学校の帰り道、授業中の内緒話、友達との何気ない会話、  
そういった自分にとってだけ大切な、日々の小さな思い出を  
抱えて生きている

人はいつか死んでしまう

私のことを知っている人は誰もいなくなる

私自身もいつかきっと思い出せなくなる

記憶を石にしまい、石は私の思い出を包み込んで眠る

私は「生活の一部を切り取る」というテーマで制作してきた。  
日々の生活に存在しているものを石に置き換える。長年住んだ  
家や何度も読んだ本など、場所やものには記憶が宿る。そう  
いった長い年月が経つと無くなってしまうものを石に留めら  
れないかと考えた。

今回の作品は、人の一生を石にしようと思い、自分が生ま  
れてから現在までの出来事を石の内側に制作した。そして、  
明日から死ぬまでは自分が歳を重ねていきその時の自分が  
制作する。自分にとってだけ大切な、日々の小さな記憶を石に  
宿す。